

平成 25 年 4 月 吉日

関東ブロック都県病院薬剤師会  
会員各位

日本病院薬剤師会関東ブロック第 43 回学術大会  
大会会長 佐藤



謹啓 陽春の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、『日本病院薬剤師会関東ブロック第 43 回学術大会』を平成 25 年 8 月 31 日（土）・9 月 1 日（日）の日程で新潟県新潟市にある朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）において開催する運びになりました。

本会主催の第 43 回学術大会は「いま進化のとき、発揮せよ 薬剤師力！～社会の期待に向かって～」をメインテーマとしました。病院薬剤師の本分でもある医療機関内での医療の貢献に留まらず、地域医療への視点を重視し、新たな薬剤師業務の模索にチャレンジしうるかを念頭におきつつ、大会のプログラム構成と斬新な運営体制を企画したいと思います。また、関東甲信越地区はもとより、それ以外の地区からの応援もいただきながら、地域の枠を越えた病院薬剤師間相互の理解を深めるとともに、薬剤師の原点を見つめ直す契機として、この学術大会を捉えておりますので、この学術大会を通していわば時(朱鷺)の流れに関する我々病院薬剤師からのメッセージを、新潟の地より発信したいと考えております。

本日ここに、学術大会の予告と 4 月 1 日より応募開始しております一般演題（ポスター）募集の案内をお送りしましたので、貴施設より多くのご応募を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本応募につきましては、大会ホームページ (<http://www.niigata-kanburo43.org/>) にある演題登録画面からの入力を原則としておりますので、登録方法に従って入力をお願いいたします。ただし、本演題登録システムをご利用出来ない場合は、別紙の演題申込用紙にて大会事務局宛に郵送またはファックスでお申し込みください。

また、応募に際して、筆頭演者・共同演者のうち、少なくとも 1 名は日本病院薬剤師会の会員であることが必要です。

本件についてご不明な点がございましたら、大会事務局までお問い合わせください。

謹白

追伸 本案内は貴施設薬剤部長/薬局長宛に複数部数同封させていただいておりますので、院内の皆様にもご案内くださいますようお願い致します。

# 日本病院薬剤師会関東ブロック第43回学術大会

【大会テーマ】 いま進化のとき、発揮せよ 薬剤師力！ ～社会の期待に向かって～

【会 期】 平成 25 年 8 月 31 日（土）、9 月 1 日（日）

【会 場】 朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

【主 催】 日本病院薬剤師会関東ブロック

【大会会長】 佐藤 博（新潟大学医歯学総合病院 教授、薬剤部長）

【大会ホームページ】 <http://www.niigata-kanburo43.org/>

## 【参加登録費・懇親会費】

	会員	非会員	学生
事前登録	7,500 円	9,000 円	2,000 円
当日登録	8,000 円	9,000 円	2,000 円
懇親会費（事前）	7,000 円	7,000 円	7,000 円
（当日）	8,000 円	8,000 円	8,000 円

本大会への事前参加登録は、大会ホームページよりご登録ください。

事前登録（予定）：平成 25 年 5 月 7 日（火）～ 7 月 4 日（木） ※払込期限 7 月 11 日（木）

☞ 事前参加登録システムで【クレジットカード決済】も可能ですが【ゆうちょ銀行（郵便局）払込み】にて登録された方は指定口座へお振込みをお願いいたします（詳細はホームページをご参照ください）。参加登録費には講演要旨集費も含まれます。

【プログラム】 ※詳細につきましては逐次大会ホームページにアップします

特別講演、シンポジウム、一般演題（ポスター）、一般公開講座

モーニングセミナー・ランチョンセミナー、企業展示（薬科機器、医学図書など）

## 【一般演題（ポスター）募集】

下記要領にて一般演題の募集を行います。

演題申し込み期間：平成 25 年 4 月 1 日（月）～ 5 月 14 日（火） 正午

大会ホームページで演題申し込み方法をご確認のうえ、演題名および要約（200～300 字程度）、その他の所定事項をご入力ください。演題採否の結果は 5 月 20 日以降に E-mail もしくは大会ホームページにてご連絡致します。

## 【要旨作成方法】

演題採択通知（5 月 22 日以降）を受け取った方は、大会ホームページに記載されている要旨本文作成方法に従って 6 月 10 日（予定）までに 780 文字以内で要旨（抄録）原稿を書き換えください。

## 【問い合わせ先：大会事務局】

日本病院薬剤師会関東ブロック第 43 回学術大会 大会事務局

新潟大学医歯学総合病院 薬剤部内

〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通 1-754

TEL & FAX： 025-227-2791（山下 恒弘）

E-mail： [kanbro43@med.niigata-u.ac.jp](mailto:kanbro43@med.niigata-u.ac.jp)

# 日本病院薬剤師会関東ブロック第43回学術大会 一般演題（ポスター）募集のご案内

下記の要領で一般演題（ポスター発表）の募集をいたします。  
演題募集方法として下記2種類の方法がありますが、原則的には1.の大会ホームページ（<http://www.niigata-kanburo43.org/>）にある演題登録から入力ください。

応募期間：平成25年4月1日（月）～5月14日（火）正午必着

演題申込方法：

1. 演題登録システム ※大会ホームページからの登録となります
2. 演題申込書ファックス送付 ※上記1.での申込が利用出来ない場合のみ受付します

## 1. 演題登録システムの登録方法《推奨》

※詳細は大会ホームページ（<http://www.niigata-kanburo43.org/>）の演題登録をご確認ください。

●ユーザー登録



●内容要約登録 5月14日（火）正午まで



●採否通知受け取り 5月22日（水）頃より暫時通知



●採択演題の要旨原稿書き換え 6月10日（月）（予定）正午まで（必須）

- 1) 大会ホームページの演題登録からユーザー登録をし、ユーザー登録完了メールを受信してください。  
※ユーザー登録完了メールは保存するか、プリントアウトすることをお薦めいたします。
- 2) ユーザー登録完了メールのURLからログインして、内容要約登録を5月14日までに、**200～300文字程度**で入力してください。  
※最初にご自身のパソコンなどで作成し、コピー機能を使って貼り付けることをお薦めします。
- 3) 登録事務局から、5月22日頃より暫時採否通知がメール送信されます。
- 4) 採用通知が受信できましたら、ユーザー登録完了メールのURLから再度ログインして**6月10日（予定）までに780文字以内**で採択演題の要旨原稿書き換えを行ってください。

## 2. 演題申込書ファックス送付の方法

- 1) 別紙にある「演題申込用紙」に必要事項を記入し、各会員個別に「郵送」もしくは「FAX」にて大会事務局宛でお申し込みください。
- 2) 講演要旨集掲載用紙は、5月22日（水）以降に各演者宛に講演要旨集掲載用紙を郵送いたしますので、必ず指定用紙にご記入のうえ、平成25年6月10日（月）までに大会事務局必着でご返送ください。

# 日本病院薬剤師会関東ブロック第43回学術大会 一般演題（ポスター）申込用紙

送付先：日本病院薬剤師会関東ブロック第43回学術大会 大会事務局  
新潟大学医歯学総合病院 薬剤部内  
〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通 1-754  
TEL & FAX：025-227-2791（山下 恒弘）  
E-mail：kanbro43@med.niigata-u.ac.jp

**応募期間：平成25年4月1日(月)～5月14日(火)正午まで**

発表者氏名 <small>筆頭演者には○印とふりがなを記載してください</small>	ふりがな
演者勤務先名	ふりがな
演者 勤務先住所	〒 TEL： FAX： E-mail：
演題名	
発表内容要約  <small>200～300字程度に まとめてください</small>	
発表分類項目 <small>(該当項目に○印)</small>	<p>A. 医薬品調製：調剤・注射薬調剤・無菌調製・製剤・簡易懸濁法・監査・疑義照会・支援システム・放射性医薬品</p> <p>B. 医薬品管理：物流管理・SPD・後発品</p> <p>C. 医薬品情報：添付文書・情報収集・情報提供・情報加工・情報評価</p> <p>D. 抗菌化学療法・感染制御：抗菌化学療法・消毒剤 ※他職種共同の場合はIへ</p> <p>E. 緩和ケア：緩和薬物療法</p> <p>F. 医療安全：有害事象・副作用・相互作用・ブレアポイド・インシデント・ヒヤリハット</p> <p>G. がん化学療法：薬物療法 ※多職種共同の場合はIへ</p> <p>H. 薬物療法・投与設計：EBM・薬剤疫学・TDM・治験（臨床試験）</p> <p>I. チーム医療：NST・褥瘡管理・糖尿病管理・救急医療・災害医療・ICT・へき地医療・周産期医療・小児医療・HIV</p> <p>J. 患者指導：入院（薬剤管理指導業務）・外来（お薬相談・カウンセリング・集団指導・薬剤師外来）</p> <p>K. 医療経済・マネジメント：クリニカルパス・DPC/PDPS・ファーマシーマネジメント</p> <p>L. 薬薬連携：医薬分業・在宅医療・お薬手帳・退院時情報提供</p> <p>M. 教育・研究：薬学教育・生涯教育・実務実習・試験研究</p> <p>N. 病棟薬剤業務：持参薬管理・フィジカルアセスメント・処方提案 ※薬剤管理指導業務以外</p> <p>S. 精神科領域・高齢者医療：精神科領域・高齢者領域 ※多職種共同の場合はIへ</p> <p>T. その他：上記に分類されない調査・アンケート・IT化等</p>